

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~3日	9月 ~10日	9月 ~17日	9月 ~24日	10月 ~1日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	49	7	8	6	7 (1)	5
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	56	15	16	11	10	11
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	6	5	2	3	2	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	15	4	4	2	8	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	11	3	1	1	4	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	2	0	0	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第39週(9月25日~10月1日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		1	2		2		2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	12	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1		1					
		デング熱	2				1		1	
		日本紅斑熱	8			4				4
		レジオネラ症	1			1				
五類	14	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1				1			
		梅毒	13					11		2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり7.47人の報告がありました。減少傾向ですが、依然として多い状況です。手洗い、こまめな換気、医療機関受診時等の効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり4.86人の報告があり、前週の約2.0倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が8件ありました。手洗い、咳エチケット、換気などの感染対策を心がけましょう。

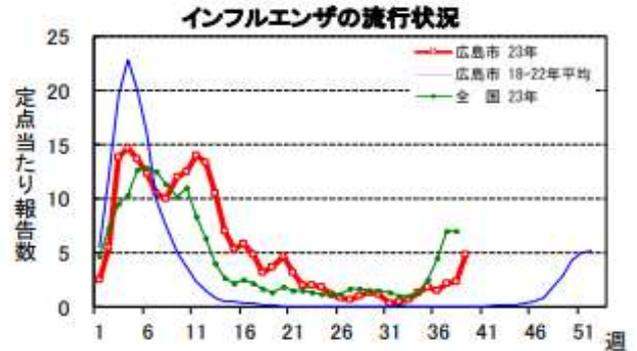
3 ヘルパンギーナ

定点当たり1.75人の報告があり、前週の約1.7倍に増加しました。ヘルパンギーナの感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染です。回復後も2～4週間程度は便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

4 デング熱

1件(推定感染地域: 国外)の報告がありました。デング熱は蚊が媒介する感染症で、近年は、ほとんどが輸入症例(日本国外で感染)です。デング熱の発生地域を訪れる際は、長袖・長ズボンを着用し、蚊の忌避剤(虫除けスプレー)を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

【参考】デング熱について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/00001311101.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
												↑	↓		
インフル	インフルエンザ	175	4.86	0.07	↑	小児科	ヘルパンギーナ	42	1.75	0.76	↗	↑	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	269	7.47		↔		流行性耳下腺炎	-	-	0.11					前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	1.00		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-				前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減	
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.14			流行性角結膜炎	5	0.63	0.65				ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.04	0.89	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-					
	感染性胃腸炎	51	2.13	2.57	↔		無菌性髄膜炎	-	-	-					
	水痘	1	0.04	0.07			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03					
	手足口病	78	3.25	1.17	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	伝染性紅斑	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-					
	突発性発しん	4	0.17	0.26											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	99	10歳代、40歳代
4	デング熱	1	2	40歳代・推定感染地域: 国外
5	梅毒	11	222	20歳代・4人、30歳代・3人、40歳代・2人、50歳代・1人、60歳代・1人